

Tx-FWD計測車

1. 概要と特徴

本機は舗装(アスファルト、コンクリート)に衝撃荷重を加え、その時の載荷荷重と複数点の路面たわみ量を測定するものである。

本体はバンタイプの車両に搭載され、荷重載荷ならびにたわみ測定は運転席からの遠隔操作が得意機動的な計測作業が可能です。

本計測車は、バンタイプの車両にFWD(フォーリング・ウェイト・デフレクトメータ装置一式)を搭載したものです。

国産初の量産型FWD計測車(フルオプション装備)



普通免許で運転可能



ワンマンオペレーション

2. 特徴

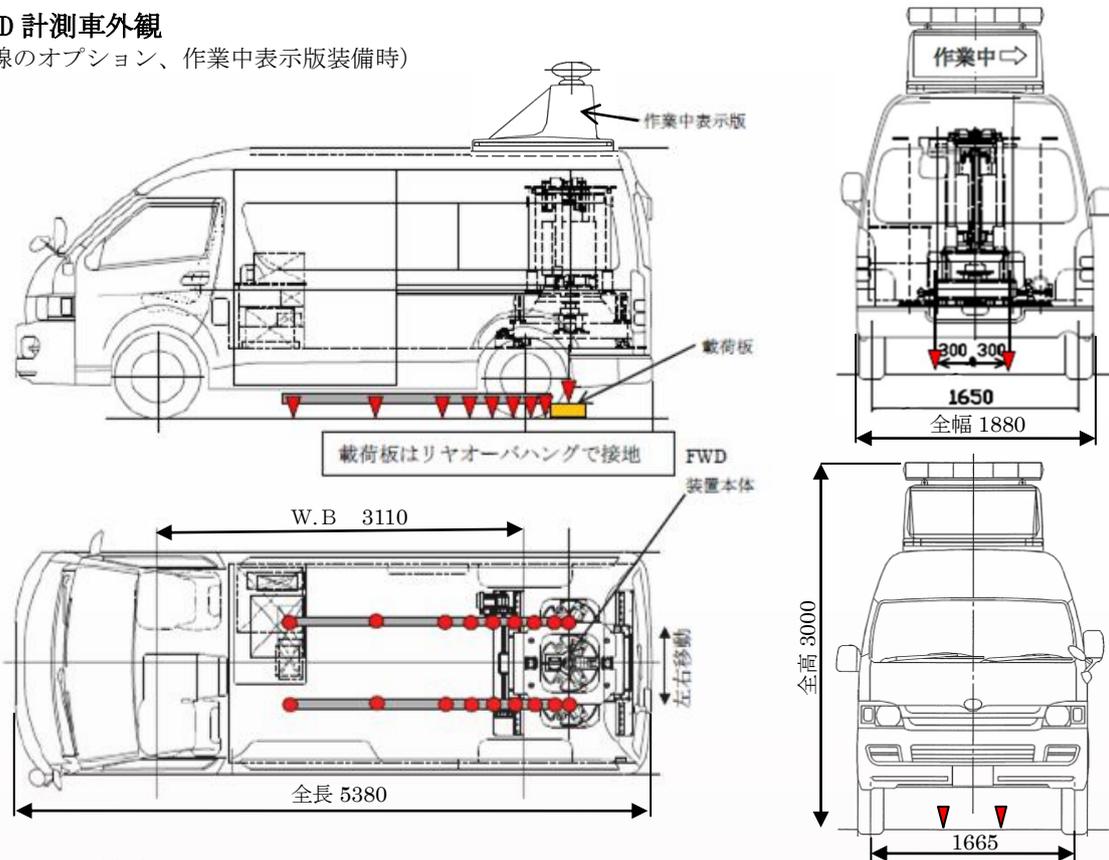
- ① 載荷板が左右に移動する横スライド式を採用しているので車線からはみ出さずにIWP、OWPの計測が出来ます。(オプションで対応)
- ② たわみセンサにジオフォンを採用し、シンプル機構で計測能率が向上しています。
- ③ 計測データはリアルタイムに処理されますので、その場で健全度判定が可能です。
- ④ 操作性の向上により一人での計測が可能です。
- ⑤ 国産のFWD装置と国産車で構成する事により、迅速な整備とサービス対応が可能です。
- ⑥ FWD装置は油圧を使わない電動方式を採用し、省電力化と環境にやさしい構造です。

お問い合わせ 株式会社トノックス 計装システム事業部 〒254-0021 神奈川県平塚市長瀬2番6号

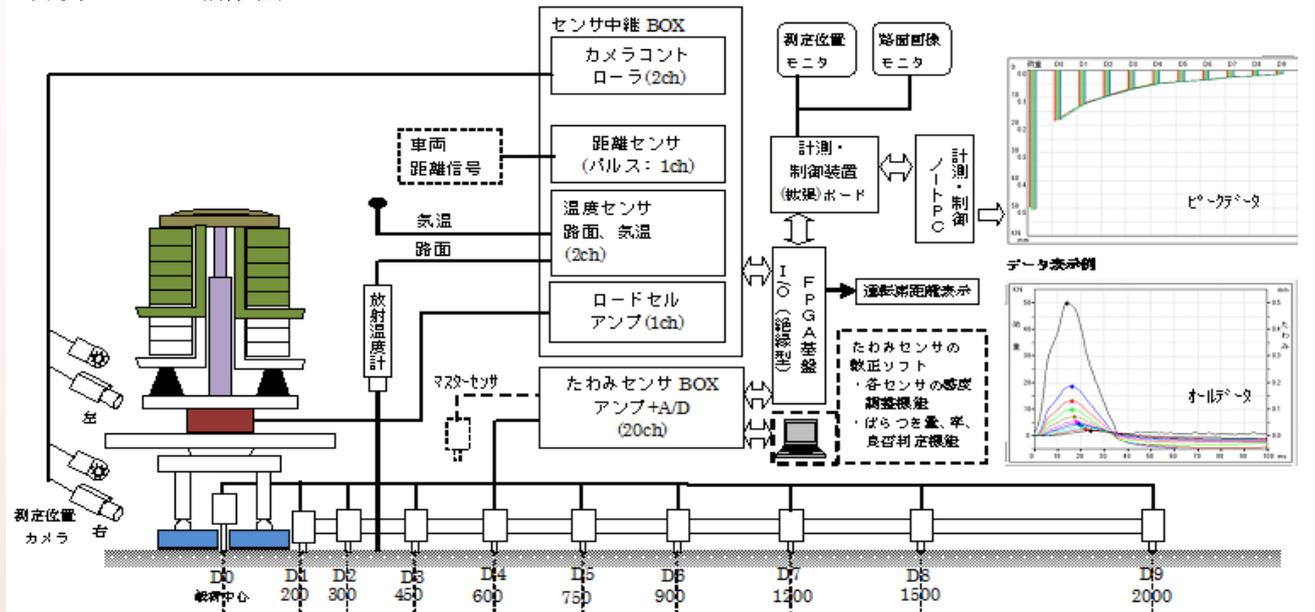
TEL:0463-73-9151 FAX:0463-23-6655 <http://www.tonox.jp/> <http://www.tonox.com>

3. Tx-FWD 計測車外観

(2側線のオプション、作業中表示版装備時)



4. 計測システム構成図



5. 性能・諸元

- | | |
|------------|--|
| (1) 型式 | T x - F W D |
| (2) 移動方式 | バンタイプ車載型 |
| (3) 載荷方式 | 単重錘方式、垂直載荷（電動式） |
| (4) 重錘重量 | 200～400kg |
| (5) 載荷荷重 | 常用5tonf(最大10tonf) |
| (6) 載荷板直径 | 300mm(4分割方式) |
| (7) たわみセンサ | ジオフォン(速度から変位に換算) |
| ・測定位置 | 0、200、300、450、600、750、900、1200、1500、2000mm |
| ・個数 | 10個(1側線)：オプション時(20個2側線) |
| ・測定範囲と精度 | ～3mm 2μm |
| ・測定モード | PEAK波形モード、ALL波形モード |
| (8) 温度測定 | 気温1CH(自動)、路面温度1CH(自動) |

仕様は予告なく変更する場合があります